

心豊かな暮らし

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

縁^{en}

2017 Vol.43 summer





季刊
縁_{en} 2017 Vol.43 summer

contents

- P 3 >>
文化が薫るまちで、穏やかに暮らす
 愛知県半田市 N様邸
- P 7 >>
矢橋の分譲住宅 「RESIDENCE 昼飯」
 麗しき住環境の創造
- P 11 >>
心豊かな暮らしの提案
 LIGHT
- P 12 >>
名古屋ショールーム 「三豊居」
 心豊かな暮らし 矢橋の家
- P 13 >>
Nghệ An省
 岐阜・ベトナム友好協会

連載
 中山道赤坂つれづれの記 文/故 清水春一
 谷木因(二)

心豊かな暮らし

表紙写真 牡丹園内 蓮
 P.1-2 N様邸 庭





06



07



08

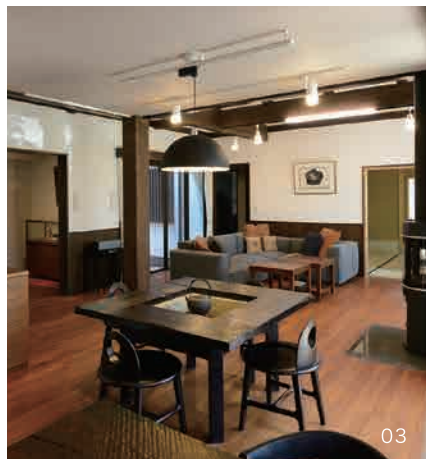
- 01 吹き抜け天井のリビング。庭を眺めながらソファでくつろぐリビングには、あえてテレビを置かない
- 02 キッチンに立つ奥様の視線の先には美しい緑が。矢橋工房のテーブルで朝食を食べたり、大人数での食事にも活躍している
- 03 矢橋工房の囲炉裏テーブルで普段の食事を。囲炉裏の火を囲み、鍋やチーズフォンデュも楽しめたそう
- 04 階段を上ると、自宅で仕事をされるご主人のスペース。リビングの吹き抜けに繋がっており、適度な開放感がある
- 05 隠れ家のように、こもって作業ができるご主人の書斎
- 06 プライバシーを確保しつつ、蔵のまちによく馴染む外観
- 07 庭の草花が最も美しく見えるよう設計された本格和室
- 08 建て替え前の建物から引き継いだ襖の引き手



02



04



03



05

心豊かな暮らし

■ 特集

愛知県半田市 N様邸

文化が薫るまちで、穏やかに暮らす

運河に沿って立ち並ぶ、黒板囲いの蔵が印象的な半田市。江戸時代から明治にかけての文化が薫る蔵のまちの一角に、N様邸がある。名古屋での勤めを終え、受け継いだ半田の地で住居を建て替えられた。「ずっとマンション暮らしでしたが、無垢材と漆喰壁の家は空気がとても気持ちいい」とご主人。初めて持つ庭の手入れや、囲炉裏を囲む食事、ストーブに薪をくべるなど、夫婦で“手をかけること”を楽しまれている。

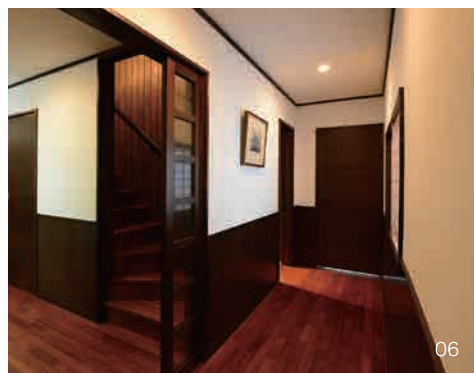




08



05



06



07



01



09

- 01 美しい庭から家を見る
- 02 廊下から坪庭が見える
- 03 蔵前には、ご主人がベトナムで購入された漆絵や、作家の置物が飾られている
- 04 蔵隣の坪庭は落ち着いた雰囲気
- 05 広々とした玄関
- 06 来客時はまっすぐ応接室へ。自宅で仕事をされるご主人が、生活スペースと応接スペースを分けるための動線。階段を上がると書斎へ
- 07 玄関から廊下を通り、すぐに入れる来客用の応接室
- 08 リビングからダイニングへ。吹き抜け上部の窓はご主人の書斎と繋がっている
- 09 テラスから庭を眺める癒しのひと時。建て替え後、東京で働くご子息が家に来る頻度が増えたという。ご子息がここでビールを片手にのんびり過ごしているのだとか



04



03



02

地域と住居の繋がりが、美しい街並みをつくり出す。外からは、どの角度から見ても美しく見える外観。中からは、どの窓から見ても美しい自然を眺められる。広々とした庭は四季折々の草花が楽しめ、蔵隣の坪庭にはしっとりとした風情を醸し出す蹲がある。古くから大切にされてきた普段使いの蔵は、外観はそのままに、新たに入り口部分を住居と繋げ、深みのある空間へと生まれ変わった。御茶の世界の美意識が大好きという奥様。美しいものを愛で、歴史あるものを大切に、暮らしへ取り入れる。丁寧に暮らす夫妻の穏やかな人柄が伝わってくる。

昼飯
I

落ち着いた空間でつろげる平屋

2LDK

インナーガレージ+リビング勾配天井無垢板張り+畳コーナー

(税込)
3,350万円

敷地面積 228.03㎡ (68.97坪) 施工面積 123.39㎡ (37.32坪)
1F床面積 104.34㎡ (31.56坪)

耐震補償付き
スーパーストロング構造体

耐震等級
3

長期優良
住宅

オール
電化仕様

太陽光
発電
対応住宅

玄関

ホールに入ると、矢橋オリジナル照明「透灯(とうとう)」の柔らかい光が。ゆったりした玄関収納には矢橋オリジナルの手すりが備わっており、安全です

ビルトインガレージ

駐車2台可能

アプローチ

天然石の自然な色合いが楽しめる石貼りアプローチ

ウォークインクローゼット

書斎

造作カウンターのある書斎で、読書などを楽しめます

床暖房

家庭菜園

1F

ダイニング

勾配天井には、矢橋オリジナル無垢フローリングにも使用される無垢板を贅沢に張りました

畳コーナー

床の間に、季節の絵を。リビングとしてつろげる畳コーナーには収納があり、すっきりとした空間を

飾り棚

季節の絵などを飾れる棚には、矢橋オリジナルのピクチャーレールを備えてあります

庭

南側にはプライバシーを確保した芝生の庭が。山木がふんだんに植わり、四季の移ろいが楽しめます

昼飯
II

空間の悠を楽しむ

4LDK

吹き抜け+矢橋オリジナルキッチンカウンター+全熱交換24時間換気システム

3,400万円(税込)

敷地面積 198.57㎡ (60.06坪) 施工面積 142.07㎡ (42.97坪)
1F床面積 65.42㎡ (19.79坪) 2F床面積 53.83㎡ (16.28坪)

アプローチ

天然石の自然な色合いが楽しめる、石貼り階段

耐震補強付き
スーパースロング構造体

耐震等級
3

長期優良
住宅

オール
電化仕様

太陽光
発電
対応住宅

居室

お子様が小さい時にはワンフロアとして、個室が欲しくなったらずっ切って2部屋に。ライフスタイルに合わせた使い方を

ウォークイン
クローゼット

2F

家庭菜園

駐車3台可能

土間収納

床暖房

庭

南側にはプライバシーを確保した芝生の庭が。山木がふんだんに植わり、四季の移ろいが楽しめます

リビング

縦への空間の広がりをつくる吹き抜けは、リビングと2階を程よい距離感で繋ぎ、家族の気配をさりげなく感じることができます

矢橋オリジナルキッチンカウンター

悠楽シリーズの特徴でもある、矢橋オリジナルキッチンカウンター。その木にしかない、形や風合いは味わいがあります

書斎

造作カウンターのあある書斎で、読書などを楽しめます。吊り戸棚には本や、見せる収納としてコレクションを飾ってみては



矢橋の分譲住宅
 うるわ
 麗しき住環境の創造
 ～Residence series～

レジデンス ポリシー
Residence Policy

現在、一般的に家を建てるフローは完成した家の見学から始まるケースが多いのではないかと思います。家はある場所の、ある地盤強度の上に建っているという事を忘れがちです。つまり、どこに建てるのか？はむしろ最も重要な事なのだと思います。まず、安心、安全。

次に緑豊かな環境があり、出来るだけ便利でという順番で考えるべき事だと思います。

たとえば建替えを検討していたとしても、まず今の場所が安心、安全な場所であるのかを考えてみるべきなのです。そして住んでみたいと思えるような場所をイメージすべきだと思います。

我々は「心豊かな暮らし」への第一歩は、ここから住んでみたいと思っ頂けるような場所を見つけ出し、創造できるのかです。安心安全であり、美しい風景があり、将来出来るであろう「心の通じ合う」コミュニティが想像できるような場所をご提供しなければならないと考えております。

遠くから我が家を見ると緑の木々に囲まれた一つの邸宅(Residence)のように見える。そのような街を作りたいと思っています。そこにお住まいになる方々は「心豊かなコミュニティ」が自然と醸成されていく、そんな街を理想としています。

土地を選び、「心豊かな暮らし」という理想の暮らしが出来る場所を、住宅のモデルハウスを造るように、単に土地分割ではない、麗しき場所(土地)を造り上げるポリシーを持たなければならないと思っています。



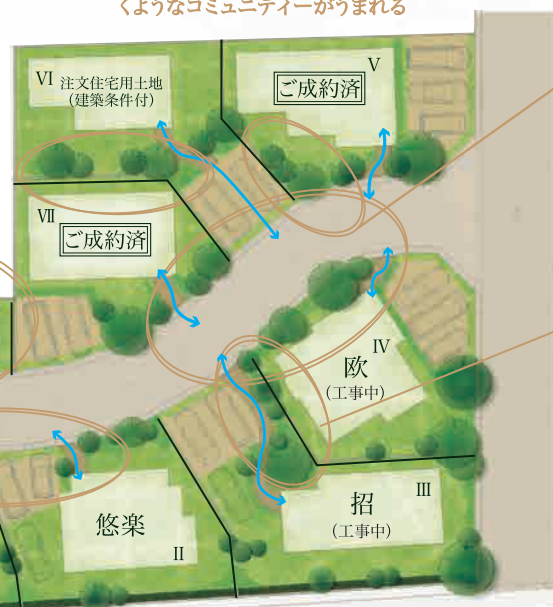
共用駐車場

玄関先の緑が確保しやすいように、独立した駐車スペースを用意。もう一台停めたい時や、来客用の駐車スペースとしても活用できる



つながるコミュニケーション

視界が広がり、ご近所同士コミュニケーションが取り易い動線を確保。つながりが感じられ、円を描くようなコミュニティがうまれる



ゆるやかなカーブの道

道がゆるやかにカーブしているため、スピードが出しにくく抜け道にもなりにくいので安全



お隣と共有する木々

プライバシーを確保しながらも、できるだけオープンな庭をつくることにより、お互いに緑を共有できる

自然樹形が美しい山木

個性豊かな枝ぶりが楽しめる山木を取り入れることにより、街に自然の雰囲気をつくりだす



街のエントランス

人々が集う麗しき街の入口は、緑で覆われている。道路との高低差をつけることにより街全体に変化をもたらす奥行きを出している



一年を通して美しいお庭

春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の木立。アプローチの花壇には季節を彩る草花たち…一邸ずつお庭のカレンダーを作成し、季節毎に変化する美しいお庭をご提案している



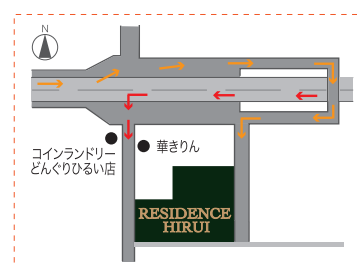
RESIDENCE HIRUI IV OU



RESIDENCE HIRUI



RESIDENCE HIRUI III SHOU



RESIDENCE 屋飯 ■ 物件概要 ● 岐阜県大垣市屋飯町字東町田419番1～● 開発面積/1922.8㎡ ● 総区画数/7区画 ● 今回販売区画数/3区画(内戸建2戸) ● 敷地面積/174.73㎡～228.03㎡ ● 建物面積/104.34㎡～119.25㎡ ● 販売価格(戸建分譲)/3,350万円～3,400万円(税込)。(注文建築用地)/890万円 ● 用途地域/第1種住居地域 ● 地目/宅地 ● 建ぺい率/60%・70% ● 容積率/200% ● 道路幅員/6m ● 水道/公営上水道 ● 排水/公営下水道 ● ガス/個別プロパン ● 電気/中部電力 ● 建築確認番号/確認サービス第KS116-410-50905他 ● 構造/木造軸組金物工法 ● 取引形態/売主 ● 戸建完成年月/Ⅰ・Ⅱ:2017.4 ※バスはイメージです ※販売価格に家具等は含まれておりません

Life Information

[交通機関]
■ JR美濃赤坂線 荒尾駅……………約2,000m
■ 東海環状線道路大垣西I.C……………約2,700m
[教育・公共施設]
■ 青墓幼稚園……………約850m
■ 青墓小学校……………約850m
■ 赤坂中学校……………約1,600m
[金融機関]
■ JAにしみの 青墓支店……………約1,000m
■ 十六銀行 赤坂支店……………約2,000m
■ カネスエ敷地内ATMコーナー……………約200m
[医療機関]
■ 金森医院……………約1,200m
■ いはらクリニック……………約550m
■ けやきデンタルクリニック……………約850m
[ショッピング]
■ カネスエ……………約200m
■ ドラッグユタカ……………約200m
■ セブンイレブン……………約300m
[公園]
■ 玉池公園……………約1,000m
■ 屋飯大塚古墳歴史公園……………約800m
■ 赤坂お茶屋敷跡……………約1,500m



住宅部 〒503-2122岐阜県不破郡垂井町表佐410-1 Tel.0584-22-0001
品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001認定取得企業
宅地建物取引業免許番号:岐阜県知事(13)第1306号 岐阜県宅地建物取引業協会 建設業許可番号:国土交通大臣許可(第28)第26337号 東海不動産公正取引協議会加盟

「レジデンス 屋飯」のお問い合わせはこちらまで。

0120-884-039

<http://www.yabashi.co.jp/house/> 矢橋林業

心豊かな暮らし 矢橋の家



矢橋林業 名古屋ショールーム

三豊居

弊社のモデルである「欧」「悠楽」「和」の3タイプの造作を施しています。
また、矢橋工房の商品なども常時展示をし、矢橋のデザインポリシーと雰囲気
をご理解頂けるような設えを致しておりますので、是非一度お越し下さい。



名古屋市中区錦2丁目5番31号 長者町相互ビル1F

名古屋ショールーム「三豊居」(さんぽうきょ)
TEL. 052-870-9290 営業時間: 10:00 - 18:00
定休日: 水・木(盆・年末年始)
<http://www.yabashi.co.jp/house/>



主事業・取扱商品

注文住宅の設計・施工
戸建・マンション・店舗などのリノベーション
オリジナル建材の加工・販売
漆器・家具等の創作・販売

LIGHT

いつもの部屋にいつもとは違う雰囲気をつくる。「灯り」の演出を少ししてみてもいいかな？
静かで落ち着いた夜の部屋と明るさに満ちた昼の部屋同じ絵も彫刻も明かりを
変えることで違って見えます。

日常の暮らしを「灯り」を少し演出することで艶のある暮らしに変えてみませんか。



YUURAKU MODEL LIVING

「岐阜・ベトナム友好協会」

〈活動内容〉
・岐阜とベトナムとの友好交流促進に資する学術、経済、文化等の交流支援
・関係諸機関及び関係団体との連携・ネットワークの構築等

〈発足の経緯〉
2015年7月のベトナムでの知事による初のトップセールスに続き、11月には総勢80名のベトナムミッション団が来岐し、投資・観光セミナー等大規模な交流事業を実施。これを機に民間レベルにおいて交流促進に向けた機運が高まり、発足に至った。



大垣市赤坂町 金生山にて



矢橋家にて食事



2016年2月 岐阜県とベトナムの友好関係の構築、発展を目的とした「岐阜・ベトナム友好協会」が発足

友好協会役員
会 長：岐阜大学 森脇久隆学長
副会長：十六銀行 村瀬幸雄頭取
大垣共立銀行 土屋嶋頭取
理 事：カインダストリーズ(株) 遠藤宏治社長
矢橋ホールディングス(株) 矢橋龍宜社長 他

2015年11月 ベトナム ゲアン省の政府関係者・企業関係者が矢橋グループを訪問され、各事業所をご見学。
ゲアン省人民委員会のNguyễn Xuân Đường委員長らが県庁を訪問し、岐阜県との友好協力に関しての了解覚書(略称:MOU)を締結。主な内容は、観光、農業、投資、教育、文化・スポーツの分野での連携、協力。官民学一体となって、今後もベトナムと岐阜県の友好関係を深めていく。



古田岐阜県知事(前列右から3番目) VINAWHITE VinhCADセンターにて

2015年7月 古田肇岐阜県知事が県代表団と共にベトナムを訪問。岐阜県はアジアをメインとした観光誘客と県産品・農産物の輸出促進を図るプロジェクトを推進しており、その一環として訪問が実現した。



故郷

弊社グループの海外初の投資拠点はベトナム社会主義共和国 NgheAn省QuyHop県でございます。NgheAn省傘下の国営企業との合併で事業を開始致しました。当時のQuyHopの町は錫の鉱山町でしたが、我々矢橋が白色石灰石に投資して以降は赤坂町の町のように石灰石の事業も地域の重要な産業となりました。我々がその土地で産出する天然資源である石灰石を採掘加工し、事業に使わせて頂くには、その土地に根を張り雇用創出は当然ですが、その他地域に貢献する義務が有ると強く認識致しております。更に2005年には合併会社から資本を譲渡してもらい、当初からのパートナーの協力のもと、100%外国資本の鉱物資源会社として、ベトナム投資計画省から投資認可を頂きました。ベトナムの国の資源を初めて100%の外国資本の会社にて与えて頂きました。

矢橋グループの経営理念の「人間探求」のもと、安全第一で人を大切に、資源を無駄にしない我々の経営方針を、ベトナム政府にお認め頂いたと感謝しております。アジアの辺境の地で事業を起して、雇用を生んで、雇用を継続し、技術を移転し、人を育て、良いものづくりを実現し、日本の事業と役割を分担し協業し、社員と会社が共に豊かになっていく事がアジアの新興国には何より必要なことです。その為には我々矢橋グループもその地域の一員として風景に溶け込み現地の地場企業になっていく事が最も重要な条件だと思っています。岐阜県の矢橋がNgheAn省のYABASHIとなり、ベトナムにおける矢橋の故郷となって共に発展していく事が我々の理想であり目指すべき道だと思っています。

日本での土地分譲による、新しい街づくりも同様の事だと思っています。新しい街を地域の風景に美しく溶け込むランドデザインをし、そこにお住い頂く、お客様が地域の人々とお付き合いが始まり、深まり、地域の繋がりが人の絆になってこそ、心豊かな暮らしが可能になると考えております。矢橋グループは日本はもとより海外においても地域に貢献する企業で有り続けることが使命だと強く認識致しております。

矢橋林業株式会社
代表取締役社長 矢橋龍宜

ベトナム北中部にあるNghệ An省(ハノイから約320km)は、南北の幹線道路・鉄道ルートの上に存在し、海路・空路も有し、他省・外国との経済交流に利便性がある。

省都はVinh(ヴィン)市で、CAD事業を行なっているVinhCADセンターがある。鉱山事業・金属加工・木工加工事業を行なっているQuy Hop(クイ ホップ)県はNghệ An省の県のひとつ。



ベトナムで事業を行っている矢橋グループ。石灰石鉱山事業・金属加工事業・木工加工事業・CAD事業を行なっているVINAWHITEは、Nghệ An(ゲアン)省にあります。
岐阜県とも友好協力の協定を結んでおり、深い関わりがあるNghệ An省の、豊かな自然や文化をご紹介します。

VINAWHITEの拠点であるNghệ An省の人々は、勤勉な人が多いと言われています。誇り高く輝かしい歴史をもつ人々は、故郷を愛して深く団結し、台風などが多い地域のため、自然災害の猛威から身を守る対策にも力を入れてきました。この勤勉な風習により、ベトナム独立の父 Phan Bội Châu(ファン・ボーイ・チャウ)、Hồ Chí Minh(ホー・チ・ミン)初代国家主席もこの地より誕生しました。その他、様々な優秀な人材がベトナム全土で活躍しています。



▲ Phan Bội Châu wikipedia掲載画像



▲ Hồ Chí Minh (右)

素晴らしい自然



Thung Mây湖

自然豊かなNghệ An省。鉱山事業を行うQuy Hop県を中心にある美しいThung Mây(トゥンメイ)湖、Thác Bản Bia(バンビア)滝など、美しい自然保護区が多くあります。これらは自然が与えてくれた無償の贈り物です。

豊かな民族文化



皆で飲む伝統的な米酒Rượu cần(ゼオカン)

多種多様な文化を持つ3つの民族(キン族、タイ族、トー族)がそれぞれの文化を融合して生活しています。最近では日本人や中国人、インド人等も生活しており、様々な人種、民族が長い年月を経て一緒に生活する事で、他の土地には無い固有の文化を形成してきました。



タイ族の民族衣装(VINAWHITE 社員)

様々な産業



産出した岩で製品を作る

ゴム・お茶・ミカンの栽培が盛んで、広大なサトウキビ畑・稲畑・果樹園を有し、農産物・民芸品が作られます。白色石灰石・ルビー・錫・建設資材等の天然資源も産出。多くの加工企業が設立され、工業用白色石灰石、タイル、錫製品、天然ミネラルウォーター等が国内外の市場で販売されています。



Yabashi White Limestone Mining Vietnam Corp.

VINAWHITEはNghệ An省にて事業を行なっています。



CAD事業



木工加工事業



金属加工事業



石灰石鉱山事業

谷木因(二)

うみゆり連載集 中山道赤坂つれづれの記 故清水 春一

谷木因(九太夫と木巴(矢橋藤十郎)の俳諧における師弟関係のことは既に述べましたが、木巴の父矢橋三郎兵衛(赤坂矢橋総本家第四代、

号は交慰、元禄四〇二六九一年六月二十八日没、法号常照院宗全日悟)という人が京都の北村季吟の門に学んだことがあり、季吟の弟子である松尾芭蕉や、谷木因との関連も何かとあったことと推察されます。しかし、このことはまだよく調

べていませんので、次の機会にゆずりたいと思います。四十二歳で剃髪、俳諧に親しむ

ここでは、森川昭氏著『谷木因全集』に採録されている木因年譜の中から、北村季吟が矢橋交慰に宛てた手紙の一節を拾ってみます。

御無事の由、御状拝見珍重に存じ奉り候、百韻並びに小簡、愚点を加え返進申し候。仰せのごとく木因へ上せられ候て御意を得候。いそがわしき比にて、しみじみとも参会申さず残念に候。此の状御とご下さるべく候。

重陽の句

九月九日 付たり菊の 木札かな 季吟

十三夜

月ぞ点 八月九月 まさに長

など申し候。 恐惶謹言

十月十日 交慰様人々御中

この手紙は年次不明ですが、季吟と木因との師弟の交流や、矢橋家の人々の交際の一面を推察できる貴重な資料であると思います。

さて、谷木因のことですが、この人の祖先は、谷大膳太夫源衛好↓出羽守衛友↓大学頭衛政↓六郎兵衛衛寿↓六郎兵衛寿宗氏利↓弥兵衛氏次↓正次↓九太夫と続いていた系図にみられるように、もとは赤坂城主から転進して丹波(京都府)山家(やまが)一万六白石の領主となりま

す。江戸時代は大名となった谷家の分家で、赤坂に住んでいたのですが、これとは別に『大垣市史』の伊藤信先生の採録によると、慶長七年(一六〇二)に赤坂の谷六郎兵衛の四男正次が大垣に移り住み、元和のころ船町に港を開いて、船問屋を開業しました。その子が幼名伊勢松と呼ばれた谷木因でした。

そして木因の父正次は、不幸にも伊勢松の生まれた翌々年、正保五年(一六四八)二月一日に病没し、母はその前年に亡くなっていたので木

因は三歳のとき、全くの孤児となってしまう。そこで伯母に当たる赤坂の竹中三郎右衛門夫妻が後見人となりますが、その間に西之川村康安寺の伯母と姉妹で後見人争いなど家督相続にまつわる財産上の紛議があつて、時の大垣城主松平甲斐守の奉行所に訴え出たり、などということもあつたようです。

しかし、赤坂の伯母の後見で無事成長した伊勢松は万治三年(一六六〇)、十五歳で元服し、名を九太夫と改めて正式に家督を相続しました。木因はその号です。

木因は学問好きで、若いときから和漢(国学と漢学)を学び、ときに和歌、俳諧の道を嗜み、京都に出て北村季吟に弟子入りし、季吟の後継者として俳諧の秘伝を伝授されるまでに成長しました。だからこそ既にご紹介したように、俳聖芭蕉とは同門の相弟子であり、師匠の季吟とともに芭蕉、木因もまた深い交友に結ばれていました。

大垣船町港の水門川に架かる美濃路の高橋の西北側に約一町歩の広大な邸があり、木因は、ここに住んでいました。そして、四十二歳の

とき(貞享四〇二六八七年)剃髪して隠居し、家業は平太夫(羽島竹ヶ鼻の坂倉又吉方より養子)に譲り、本家の北裏(曹洞宗全昌寺の南隣へ続く場所)に住み、俳諧連歌に専ら親しんだようです。芭蕉が訪れたり、俳文学関係を通じて多くの人々との交遊を深めたのも、このころからであつたようです。

剃髪 木因

前日 青柳や けふを元結の いとまごひ

後日 梅花折つて さし所なき あたまかな

この句と木因画像は、木因が四十二歳の春三月谷家過去帳を調製、赤坂正福寺で剃髪したときのものであるとも伝えられています。が、確認するにはいたっていません。



谷木因像と句



矢橋林業株式会社